

学校関係者評価結果報告書
(平成30年度)

専門学校太田自動車大学校

目次（評価項目一覧）

1 教育理念、目標

- ・学校の理念、目的、また育成人材像は定められているか
- ・学校における職業教育の特色は何か
- ・社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ・学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者に周知されているか
- ・学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2 学校運営

- ・目的等に沿った教育方針が策定されているか
- ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- ・運営組織や意思決定機能は規則等に明確化されているか、有効に機能しているか
- ・人事、給与に関する規定は整備されているか
- ・教務、財務等の組織整備など意思決定のシステムは整備されているか
- ・業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3 教育活動

- ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発等が実施されているか
- ・関連分野の企業、関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- ・関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- ・授業評価の実施、評価体制はあるか
- ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- ・成績評価、単位認定、進級、卒業判定基準は明確になっているか
- ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか

- ・ 関連分野における企業等との連携に置いて優れた教員を確保する等マネジメントが行われているか

- ・ 関連分野における先端的な知識、技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取り組みが行われているか

- ・ 職員の能力開発のための研修が行われているか

4 学修成果

- ・ 就職率の向上が図られているか

- ・ 資格取得率の向上が図られているか

- ・ 退学率の低減が図られているか

- ・ 卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

- ・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

5 学生支援

- ・ 進路、就職に関する支援体制は整備されているか

- ・ 学生相談に関する体制は整備されているか

- ・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

- ・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

- ・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか

- ・ 学生の生活環境への支援は行われているか

- ・ 保護者と適切に連携しているか

- ・ 卒業生への支援体制はあるか

- ・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

6 教育環境

- ・ 施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

- ・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

- ・ 防災に対する体制は整備されているか

7 学生の受入れ募集

- ・ 学生募集活動は適正に行われているか

- ・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

- ・ 学納金は妥当なものとなっているか

- ・ 高校、高等専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか

8 財務

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか
- ・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ・財務については会計監査が適正に行われているか
- ・財務情報公開の体制整備はできているか

9 法令等の遵守

- ・法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ・個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ・自己評価結果を公開しているか

10 社会貢献、地域貢献

- ・学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか
- ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ・地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1 教育理念、目標

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 () 内は自己評価

評価項目	評価
① 学校の理念、目的、また育成人材像は定められているか	4
② 学校における職業教育の特色は何か	4
③ 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者に周知されているか	4(3)
⑤ 学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3

(2) 現状

・当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ人材育成を行っている。また、企業と連携を深めることで、業界のニーズに向けた教育の実現に取り組んでいる。

【教育理念】

高い専門技術を修得することに喜びを感じ、生き生きと自ら求めて学ぶ学生の育成を行う。また、豊かな心を磨き高い技術と合わせ社会に貢献できる人材の育成を行うことで学生一人一人が豊かな人生を歩むことが出来る教育を行う。

【教育目標】

豊かな人間性と知性、感性を備え21世紀をリードする有為な人材を育成する。

当校の教育の特色として以下の点が挙げられる。

- 1 徹底した整備士試験対策による整備士資格取得、一人に1台(基)の実技試験による技術力修得を実施している。
- 2 卒業後の進路選択に備えて、専門分野の資格取得に対するためのカリキュラムを整備している。
- 3 豊かな人間性を養うために、各種学校行事、特別授業などを実施している。
- 4 国際的な視野を養うために希望者に対して海外研修旅行を実施している。

(3) 課題と改善策

日々進歩を続けている自動車のメカニズム、整備士試験の傾向、学生の状況に追順しきれていない面がある。組織として変化に対応できる柔軟性を向上させていきたい。

特に入学者の人間性の未成熟な点に追従できていないことが課題である。

自動車車体整備学科の開校初年度であったが、担当教員と学生の力により、十分な教育効果をあげることができた。

平成30年度から学校保護者間の情報共有を目的として、在校生向け保護者説明会を実施した。保護者説明会は全体の説明、担任との面談、学生の整備デモ見学など多様な形で実施した。

2 学校運営

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ()内は自己評価

評価項目	評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は規則的に明確化されているか、有効に機能しているか	4
④ 人事、給与に関する規定は整備されているか	4
⑤ 教務、財務等の組織整備など意思決定のシステムは整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(2) 現状

- ・運営方針は適宜管理職が打ち合わせを持ち、長期、短期の方針を決定、全教職員に周知される。
- ・学校の運営については、学則及び細則などによって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- ・教務、財務等の組織整備など、全体の重要事項については、理事会・評議員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意思決定がなされている。
- ・校内においては管理職、学年、学科会議を定期的開催し、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織として意思決定を効率的に行っている。
- ・人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- ・教育活動等については当校の Web サイト等により情報公開に務めている。
- ・情報システムとしては、学籍管理システムやネットワークシステムを利用したデータの共有、マークシートリーダーを使用した採点システムなどで効率的に運用されている。

(3) 課題と改善策

特にありません。

3 教育活動

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ()内は自己評価

評価項目	評価
① 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方策などが策定されているか	4 (3)
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
④ キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発等が実施されているか	3
⑤ 関連分野の企業、関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価の実施、評価体制はあるか	4
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
⑨ 成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得等に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3
⑫ 関連分野における企業等との連携において優れた教員を確保する等マネジメントが行われているか	3
⑬ 関連分野における先端的な知識、技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
⑭ 職員の能力開発のための研修が行われているか	4

(2) 現状

・教育課程の編成、実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科長、学年主任を中心に検討、教務部長の確認後、学校長の承認を受け策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。

・実践的な職業教育として、企業と連携した現場に近い整備実習を体験させることで、即戦力育成に取り組んでいる。また、大型車用リフト、タイヤチェンジャ、バルンサなどを新規に導入し、教育環境の充実に努めている。

・授業評価については、前期、後期の各期末に学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。

・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確に定められており、入学ガイダンス時に配布しており、学生に周知されている。

・資格取得支援については特に整備士技能登録試験に主軸を置き、全体統括、各級主担当者を定め組織的に取り組んでいる。

・教職員の資質向上については、校内で独自に制作した「教職員必携」を利用し、学校教

職員として必要となる考え方や学生指導の方法等について研修を入社時に行っている。また適宜整備士講習、整備主任者研修など専門的な研修を受講させ知識、技術の向上を目指すと共に、自動車検査員や一級整備士、車体整備士の取得を推奨し支援している。

(3) 課題と改善策

日々進歩する自動車の技術について、出来るだけ授業に反映させるように改善を重ねているが、今後さらに関係団体、企業と連携を取り、最新技術についても教育に盛り込めるようにしていきたい。

板金塗装に関する知識・技術について現在車体整備士資格を有する教員を中心に、全教員にその技術・知識を伝えている段階である。

4 学修成果

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ()内は自己評価

評価項目	評価
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4(3)

(2) 現状

・学内企業説明会をはじめ、各種就職行事を実施し、開校以来（13年連続、平成30年度末までの実績）就職内定率100%を達成している。

・各種資格取得の講習会を実施。整備士技能登録試験については開校以来全員受験で完全合格を目指し、指導を徹底し、二級整備士取得率は9年連続100%、車体整備士、一級整備士共に全員受験で合格率100%を達成した。整備士資格取得支援については、北関東でもっとも充実しているという自信がある。

・欠席状況については日々ホワイトボードへ担任が記載、学年主任、学科長が確認をして、自宅への連絡、早期三者面談などを指示し対応しており、学生の生活上の諸問題などについても家庭と共有することで、退学率の低減に努めている。

・卒業生については、社内資格、自動車検査員取得についてのバックアップや登校させての学習指導、支援を行っている。

・卒業生とメールやSNSでコミュニケーションをとれるように、環境を構築した。

(3) 課題と改善策

・整備士養成施設という特殊性から、整備士技能登録試験については、すべての種目において全員が合格（完全合格）でなければならない。本年度は、一級整備士、二級整備士、車体整備士全て全員受験で全員合格を達成できた。ただし例年に比べると1級の出題難易度が低く、昨年度のレベルの問題（高難易度の出題）で同じ100%を達成したかった。

5 学生支援

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ()内は自己評価

評価項目	評価
① 進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	3
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	3
⑦ 保護者と適切に連携しているか	4
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	4
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3

(2) 現状

- ・進路、就職相談については、入学から卒業まで時系列に二者面談、企業研究、先輩との懇談会、学内企業説明会など指導を行っている。
- ・経済的支援については、特待生制度、納付金の分納制度、無料スクールバス、自動車ディーラの奨学金制度等を整備している。また、事務局に相談窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- ・平成26年度から定期的なスクールカウンセラーの運用を実施。定期的な面談など学生の精神面への支援対策を行っている。
- ・課外活動については、幅広い内容を実施する特別授業、一定条件を満たした学生グループの活動について、学校公認のクラブ活動と認定し、活動費の補助等の支援を行っている。
- ・入学時に保護者説明会を開催している。希望者には担任との三者面談を実施し、保護者との連携を図っている。
- ・卒業生に対しては入社後の各種資格のバックアップなどを行っている。
- ・学校説明会の実施、インターンシップの受け入れ、非常勤講師派遣を通じて高校との連携を図っている。

(3) 課題と改善策

卒業生との連絡方法の確立、平成30年度からの保護者懇談会の実施など改善の準備を行いました。平成30年度の効果を分析したい。

6 教育環境

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 () 内は自己評価

評価項目	評価
① 施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
③ 防災に対する体制は整備されているか	4

(2) 現状

- ・国土交通省指定基準を満たす車両、エンジン、実習場を有し、各実習授業はもちろん、一人に1台(基)での実技試験(1, 2年生)、原則一人に1台(基)(3, 4年生)での実習展開が行えている。
- ・4年生のインターンシップや姉妹校と合同の海外研修旅行、陸運支局への持ち込み継続検査実習など十分な教育体制を整備している。
- ・内部で実施する避難訓練は年に2回実施している。

(3) 課題と改善策

新実習棟には塗装ブース7機、大型トラック整備スペースなど近隣他校にはない最新の整備環境が整備された。車両についても大型バイクの充実、大型トラック、大型車用タイヤチェンジャ、バルンサの導入など全国的に見ても学生から魅力的な環境となった。

避難訓練については、平成30年度に3校合同の避難訓練を実施することができた。

7 学生の受け入れ募集

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ()内は自己評価

評価項目	評価
① 学生募集活動は適正に行われているか	4(3)
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
③ 学納金は妥当なものとなっているか	4
④ 高校、高等専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか(学生募集の項目へ)	4(3)

(2) 現状

- ・学生募集については、パンフレット及び学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また4月から9月に体験入学、10月から3月に学校説明会を開催している。体験入学では授業体験をするなどして当校に対する理解を深めてもらっている。
- ・卒業生の進路状況や各種資格取得、整備士技能登録試験合格率などの教育成果は、パンフレットやWebサイトへの掲載によって公開されている。
- ・入学者数については微増を果たせたが、入学者の確保が本校の大きな課題である。

(3) 課題と改善策

進路選択の時期が、高校3年次の早い時期である現状と、他の整備士養成施設の募集活動のペースにあわせて、アプローチの方法を変えた。広報活動については、全校をあげて、さらなる充実を目指す必要がある。

8 財務

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ()内は自己評価

評価項目	評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	4
② 予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務については会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 現状

・本法人は異なる専門分野を教育する3校を同じキャンパスで運営しており、その相乗効果で北関東、信越、東北地域から学生が幅広く集まっている。法人設立から20年以上が経過し、施設設備や教育環境も整い、学校の知名度や教育に対する評価も高まっている。現在では学費等収入は安定し、学校運営に十分な状況であり、有利子負債の比率もかなり低い水準で推移している。少子化というリスクは常に存在するが、中長期的に財務基盤は安定していると判断している。

・予算、収支計画は年度開始前に各担当からの積み上げ方式を基礎として法人本部で原案を作成し、評議員会の審議承認を得た後に、理事会の決議により決定している
 予算収支計画は期中において月次決算毎に予算実績管理を行い、その執行状況と予算差異を把握し、経営判断に必要な報告がなされている。

・財務については顧問契約により公認会計士が期中監査として2回、決算監査として1回の会計監査を実施している。前期は経営及び財政状態について適正意見を記載した「独立監査人の監査報告書」を受領している。

・財務情報の公開を実施する体制は常に整備している。現状は法的な義務として官公庁その他の関係各所に公開しているが、外部の第三者への公開は行っていない。ホームページ等で広く一般の人向けに公開する必要がある場合には、公開する財務情報の内容及び範囲等を慎重に判断したうえで実施する方針である。

・新校舎の施設設備、教材、車両などは本校の規模の自動車大学校単科では導入は困難なものであった。3校ある太田アカデミーだからこそ今回の教育環境の充実が行えた。

(3) 課題と改善策

特になし。

9 法令等の遵守

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ()内は自己評価

評価項目	評価
① 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公開しているか	4

(2) 現状

- ・法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は総務部が連携して行っている。また、所轄官庁からの通知についても同様に通知され、教職員に周知されている。
- ・個人情報の保護に関する規則は明文化されている。職員に対しては「秘密情報保持規約書」を締結、個人情報について厳重に扱っている。また個人情報の利用や保持については顧問弁護士の指導のもと適切に取り扱われている。
- ・新規導入の車体整備関係の内容についても、法令を遵守し、点検、主任者の専任など専門家にアドバイスをもらい実施している。
- ・学校内で自己評価を実施しており、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成27年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- ・本報告書については、当校のWebサイトに掲載して広く公開している。

(3) 課題と改善策

特になし。

10 社会貢献、地域貢献

(1) 採点 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ()内は自己評価

評価項目	評価
① 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか。	4
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
③ 地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3

(2) 現状

- ・地域住民からの応援要請（自動車関係のトラブルなど）には、積極的に応じている。
- ・ボランティアについては、校舎近隣の清掃活動などを行っている。
- ・地域に対する公開講座、教育訓練の受託については、前々から検討はしているが、整備という特殊性から実行に移せていない。
- ・栃木県内の高校への講師派遣、インターンシップ受け入れ、教育連携などを推進している。
- ・群馬県及び栃木県の自動車整備講習所へ講師派遣を行い社会人向けに本校の受験対策ノウハウを提供し、整備人材確保に協力をしている。
- ・整備振興会太田支部への協力として点検祭りにて、車両の展示などを実施した。

(3) 課題と改善策

公開講座、教育訓練について引き続き検討を行い、実施できるようにしていきたい。